

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2016年34週 (8月4週 8/22~8/28)
 愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>
 E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp
 連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

流行性角結膜炎、流行性耳下腺炎、麻しん、ダニ媒介感染症に関する注意喚起、蚊媒介感染症に関する注意喚起、腸管出血性大腸菌感染症

定点医療機関コメント

感染性胃腸炎、マイコプラズマ感染症、流行性耳下腺炎、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(30)、腸管出血性大腸菌感染症(4)、レジオネラ症(2)、アメーバ赤痢(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(2)、急性脳炎(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(4)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、梅毒(4)

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

流行性角結膜炎(図1)

34週の定点当たり報告数は1.20で、比較的大きな流行が見られなくなった2007年以降では最も高い値となっています。33週27人 34週42人(1.56倍)です。

流行性耳下腺炎(図2)

34週の定点当たり報告数は0.93で、過去5年間で最も高い値となっています。流行性耳下腺炎は、ムンプス、おたふくかぜとも呼ばれ、最も多い合併症として髄膜炎があり、学校保健安全法(第2種感染症)で出席停止期間が定められています。33週119人 34週169人(1.42倍)です。

【参考ページ】<注目すべき感染症>流行性耳下腺炎(感染症発生動向調査週報/国立感染症研究所感染症疫学センター)
<http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2016/idwr2016-23.pdf>

麻しん

愛知県の2016年報告数は8月31日現在1件、2015年は報告がありませんでした。全国の2016年33週までの累積報告数は32件です(2015年総報告数は35件)。

【参考ページ】麻しんの広域的発生について(厚生労働省)
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Keinkoukyoku/0000134554.pdf>

麻しん患者調査事業を実施しています。
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>

ダニ媒介感染症に関する注意喚起について

北海道においてダニ媒介脳炎患者の発生が確認されました。

【参考ページ】ダニ媒介感染症に係る注意喚起について(厚生労働省)
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Keinkoukyoku/0000133316.pdf>

蚊媒介感染症に関する注意喚起について

【参考ページ】ジカウイルス感染症に関する注意喚起について(厚生労働省)
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000134968.pdf>
 注意すべき蚊による感染症 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/mosquito.html>

腸管出血性大腸菌感染症(図3)

愛知県の2016年報告数(診断週別)は、8月31日現在92件(O157 71件、O26 14件、O103 3件、型不明4件)、うち溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例は5件です。

2015年の同時期(1~34週)報告数は60件、年間報告総数は98件(うちHUS発症例2件)でした。

【参考ページ】腸管出血性大腸菌 http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#2_4
 腸管出血性大腸菌感染症とは(国立感染症研究所) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/439-ehc-intro.html>

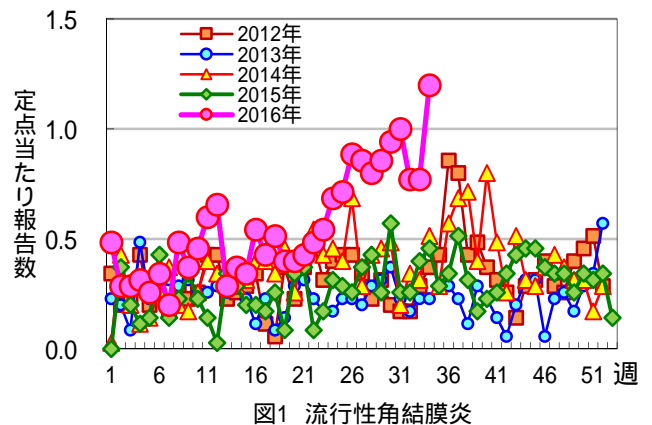


図1 流行性角結膜炎

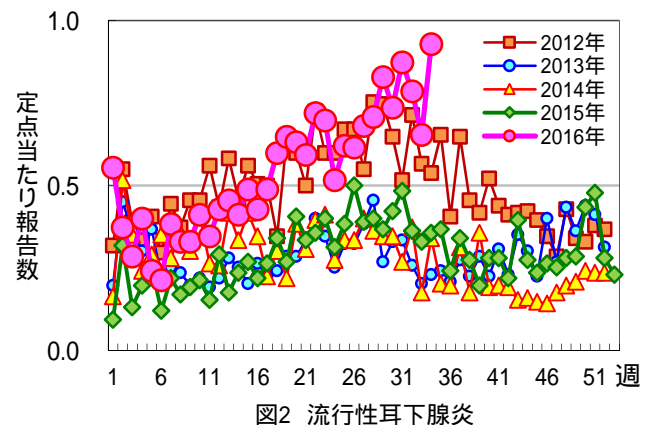


図2 流行性耳下腺炎

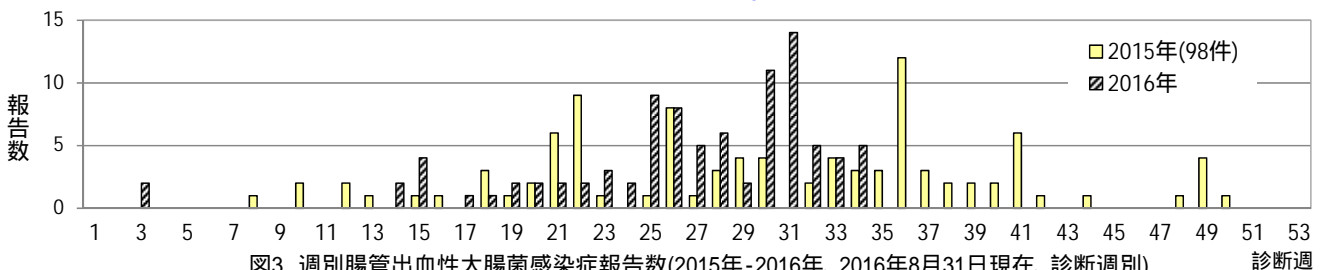


図3 週別腸管出血性大腸菌感染症報告数(2015年-2016年、2016年8月31日現在、診断週別)

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

アデノウイルス感染症を疑わせる咽頭炎は多い。
 【一宮市 後藤小児科医院】
 幼稚園児、保育園児から家族への感染症例が多いように思います。
 【一宮市 ふなはし眼科】
 おたふくかぜの小流行が続いています。
 【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
 おたふくとヘルパンギーナの様な咽頭炎が目立ちます。
 【犬山市 武内医院】

流行性耳下腺炎やや減少
 溶連菌感染症、感染性胃腸炎少し目立ちました。
 【江南市 みやくちこどもクリニック】
 おたふくの流行は続いています。
 手足口病やヘルパンギーナはほとんどいなくなりました。
 【扶桑町 医療法人tsukushiつくしこどもクリニック】
 24歳女 15歳女 マイコプラズマ肺炎
 【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

ヘルパンギーナ、突発疹等散発
 静かな外来が続いています。
 【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
 高熱の子供が多かった。
 マイコプラズマも流行していました(小学生)。
 【日進市 みやがわクリニック】
 RSV、ムンプスはまだまだ多いです(紹介状などで)。
 手足口病、ヘルパンギーナもそこそこあります。
 【春日井市 春日井市民病院】
 3歳男 13歳女 30代女 マイコプラズマ
 ムンプス、マイコプラズマが目立ちました。
 【春日井市 朝宮こどもクリニック】

感染性胃腸炎ではサルモネラ菌が目立ちます。
 その他マイコプラズマ肺炎が続いています。
 【小牧市 志水こどもクリニック】
 感染性胃腸炎散発
 【南知多町 医療法人大岩医院】
 7歳男 マイコプラズマ
 【大府市 まえはらこどもクリニック】
 サルモネラ腸炎 1名(1歳 サルモネラO4)
 【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

マイコプラズマ肺炎 8歳女
 【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
 アデノ(咽) 3歳男 1歳女
 マイコプラズマ肺炎 8歳男 8歳女
 サルモネラ 6歳男
 マイコプラズマ肺炎散発しています。
 【岡崎市 花田こどもクリニック】
 マイコプラズマ肺炎
 8歳男 11歳男 3歳女 11歳女
 【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

インフルエンザA 1名(タイから帰国の友人から感染)
 【知立市 宮谷クリニック】
 カンピロバクター 8歳女 11歳男
 病原性大腸菌 0歳女 (O1、VT陰性)
 【幸田町 とみた小児科】
 カンピロバクター 1名成人女(35歳)
 【西尾市 やすい小児科】

東三河地区

5歳女 カンピロバクター
 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
 咽頭結膜熱
 2歳男(1名) 4歳男(1名) 6歳男(1名)
 【豊橋市 富安眼科】
 ヒトメタニューモウイルス 0~5か月女 1名
 【新城市 新城市民病院】

サルモネラO4 2歳男
 病原性大腸菌O25 0歳女
 【豊川市 ささき小児科】
 マイコプラズマ 4名
 ヒトメタニューモウイルス 1名
 サルモネラO4 5名
 サルモネラO9 1名
 カンピロバクター 1名
 【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2016年8月31日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun160215.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2016年34週報告数			2016年総計(1～34週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	11	1	2	458	116	114
豊田市	1	1		45	12	11
豊橋市	2		2	49	10	17
岡崎市	2	1		38	14	10
一宮	3	3		93	34	19
瀬戸				77	15	25
半田	1	1		42	11	19
春日井	3			78	14	22
豊川				31	9	7
津島	2	1	1	73	11	31
西尾				17	4	3
江南				28	6	2
新城				8	5	2
知多	3			56	14	17
清須	1		1	26	14	2
衣浦東部	1			74	10	15
合計	30	8	6	1,193	299	316

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	23歳	男	8/20	8/20	8/23	O157、VT2(+)
2	名古屋市	67歳	女	-/-	8/22	8/25	O157、VT2(+)
3	名古屋市	20歳	男	8/13	8/15	8/22	O157、VT1(+) VT2(+)
4	豊川	62歳	女	8/19	8/22	8/25	O103、VT1(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	50歳	男	肺炎型	国内
2	衣浦東部	88歳	女	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	46歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	72歳	女	不明	国内	無
2	豊川	92歳	女	不明	国内	無

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	86歳	女	ヘルペスウイルス	国内

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	豊田市	58歳	女	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	40歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	40歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	36歳	女	AIDS	静注薬物使用	国内
4	津島	66歳	女	AIDS	性的接触	国内

侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊田市	68歳	男	不明	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	36歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	68歳	男	晩期顕症	不明	国内
3	名古屋市	19歳	女	早期顕症	不明	国内
4	瀬戸	58歳	男	早期顕症	性的接触	国内

